

## キャリアデザイン・ゼミナールB(38)とは

この授業は、卒業後の就職や進学などの将来設計について、基礎知識や情報収集能力・構想力を身につけ、各自のプランづくりに早期から取り組むための「キャリアプラン科目群」の一つです。

キャリアデザイン・ゼミナールB(38)は、別名国際グループワーク。様々な言語や文化的背景をもつ奈良女子大学生が、積極的に自由なディスカッションを通じて、共に、学内の国際交流や異文化理解につながるようなイベントを企画・立案・実施する授業です。

コミュニケーションは基本的に日本語で行い、共同で課題設定および解決方法の提案を行う力、積極性・協調性、コミュニケーション能力、立案・実施にあたって困難な状況においても自ら工夫する力が身につきます。

日本人学生と留学生との交流だけでなく、日本人同士でも留学生同士でも、国籍や出身地を越えてお互いを理解することは、意外に難しく、そして面白いもの。学生時代に、相手を理解しようとする難しさや楽しさを体験することは貴重な経験になるはず。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大学生たちはなかなか大学で一緒に時間を過ごせませんでした。でもだからこそ、交流のチャンスやヒントを再考する価値があるのです。

そこで、2020年度後期のテーマは、「国際交流できるオンラインのレクリエーションを考えよう!」。いま、この時期。どうすれば国際交流が可能になるか。このパンフレットは、制約がある中で、異文化理解の架け橋となるようなイベントを考えるという課題に取り組んだ成果です。是非皆さんも、一緒に楽しんでみてください。

## 2020年度後期

### キャリアデザイン・ゼミナールB(38)の概要

担当： 村田賀依子・松原千恵（国際交流センター）

参加学生： 井形萌 / 稲井佳那子  
/ 大場紀香 / 岡村美奈 / 門脇万智子  
/ 金志鮮 / 吳欣穎 / 鄭璐 / 富永聡美  
/ 那須博美（50音順）

日程（全8回）： 2020年10月21日・10月28日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日

授業方式： オンライン・オンデマンドの併用（Zoom、LINE、Googleスライドなどを併用）



←このパンフレットはダウンロードできます（動画バージョンもこちらから!）

大学会館2階国際空間CotoQueでも掲示中 ↓



# ならじよから提案! オンラインならではの 国際レクリエーション

## 1・2・3



## 奈良女子大学

### 2020年度後期授業

#### キャリアデザイン・ゼミナールB(38)

#### 国際グループワーク

#### 課題

## 嘘か本当か…奈良女〇×ゲーム!

●目的：学生同士の仲を深め、初対面の人と仲良くなる。お互いの国、地域のことに関する理解を深める

●方法：Zoomを使ってオンライン形式で（問題を考えるチームがブレイクアウトセッションに入るので、作戦会議の声が聞こえないメリットがある／Zoomの「反応」の機能が使える）

ルール：

●チーム戦（チームは国籍や所属などがばらけるように）

●1チームにつき、奈良女に関する問題を必ず一つ出す：問題を出すチームはブレイクアウトセッションに入り、問題を考える／答えるチームはもとのセッションで雑談を楽しみながら待つ

●問題を出すチームと答えるチームを順次交代する、

●ジャンルごとに問題を出し（問題のジャンルは先に決めておく。ex. 食べ物、町、方言など）、○か×かで答えられるものを用意する。（ex. △△県の有名な食べ物は、□□である、○か×？ ○○県には、××がある、○か×か？）

●留学生は、自分の国に関する問題を出す

## 〇×のオリジナリティはここで出す！

・奈良女に関する問題を出すこと

・ゲームが終わったら、ご褒美に、自分の地域の物を交換すると良いかも。

・勝ったチームには、「反応」機能を利用して、拍手、ニコニコマークなどを送る

## 奈良女キャッチマインド

●始める前に…自己紹介タイムを！（出身地、好きなもの、趣味など簡単に自己紹介する時間を作って、みんなで仲良くなるう！）

●方法：Zoomを使ってオンライン形式で（プライベートチャットやホワイトボード機能を活用）

ルール：

●個人戦でもチーム戦でも

●まずはキーワードを考える

①「親」になる人を決めます

①「親」が、参加者の中から自由に「絵を描く人」を一人決めます→「絵を描く人」は、1.奈良女に関するもの／2.自分の国や出身地に関するもの…この二つのキーワードを考えて、「親」にプライベートチャットで送ります

②他の人はその絵を見てキーワードを当てます

③答えを当てた人が次の「親」になります

④キーワードをたくさん当てた人が勝利です

## オンラインレクはここを工夫しよう

■ Zoomの機能の説明（チャット、ホワイトボード機能、ブレイクアウトルーム機能）を最初におこす

■ 司会進行は2人以上で

■ ルール説明の時に実演をしてみよう

■ 時間の配分を決めておこす

■ BGMや効果音を流して盛り上げよう

■ チーム名に参加者の名前などを取り入れて、レクの中で呼び合おう

■ 待っている間の会話のテーマを提供しよう

## 奈良女的レクリエーション： チーム対抗なんでもクイズ

●始める前に…自己紹介を行い、グループ戦にすることで全員がゲームに参加しやすいようにしよう

●目的：参加した方々がレクリエーションを通じて仲良くなること。日本、奈良、外国に関するクイズによって色々な文化について知ること。

●ポイント：日本の学生、留学生がどちらも楽しめるような身近なクイズを出す。

●方法：Zoomのグループセッションを使って会話する。手元に紙とペンも用意しておく。

ルール：

●参加者の中から、留学生を含めて、学部、学年ばらばらのチームを作成する。→ブレイクアウトルーム内で自己紹介

●チームごとに、日本に関するランキング、中国、韓国に関するランキングを出題して、どれが一番○か○か当ててもらう。正解発表のとき、解説もつける。

●正解するとポイントがもらえて、最終的に何ポイント獲得できたかで競う。一番多くのポイントを獲得できたグループが優勝

## クイズのオリジナリティはここで出す！

・クイズの中に奈良女に関する問題を出し、正解したチームは他の問題より多くのポイントがもらえる。

・参加者を募集する際に、問題を作る参考にアンケートを取る（例：奈良女の中で一番好きな季節は？）

・チーム名を奈良にちなんだ名前にする